

国際バカロレア認定一条校における 学校図書館利活用の状況

学校司書への質問紙調査の分析から

筑波大学大学院・院生

小澤 志織

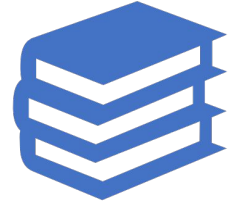


発表の流れ

1. 発表の目的と問題の所在
2. 研究課題
3. 研究方法
4. 質問紙調査の分析方法
5. 学校司書の職務や役割
6. 質問紙調査項目
7. 分析結果
8. 結論(考察含む)



1) 発表の目的と問題の所在



目的:国際バカロレア (IB) 認定一条校における図書館利活用の状況を学校司書への質問紙調査に基づき明らかにすること

問題の所在:先行研究では図書館と司書の役割について以下のような検討がされている

- 図書館員の**役割の必要性の認識がある一方、アクションは何も取られなかった**や役割を明確にするために『プログラムの基準と実践要綱』の中の「**プログラムの基準**」に関連付け、**役割を明示できるかどうか確認する**という傾向があった (Tilk 2021)
- 「**図書館、マルチメディア、およびリソースが、プログラムの実施において中心的役割を果たすこと、と明記されているが、施設面積や蔵書数、ライブラリアンの資格等についての明確な規定は示していない。**」 (高松 2020)
- DP認定校の学校図書館に求められる機能への示唆として、**学校司書の受動的な態度の指摘がある** (脇田 2017)、(Tilk 2021)

1) 発表の目的と問題の所在



「国際バカロレア教育においては図書館を設置してカリキュラムに沿ったサービスを行うことが前提になっており、そのための図書館運営マニュアルが刊行されている。」(根本 2019)

『理想の図書館:学校のための手引き』(2018)

IBにおける図書館と司書の定義や職務、役割、といった概要が書かれてはいるが、「～が求められる、～を担う」など、**役割が箇条書きのように明確には表されておらず**、さらには**IBOによる図書館評価基準もないため**、ほとんどが**個人や学校の判断に任される形**になっている。



理想の図書館：学校のための手引き

1) 発表の目的と問題の所在



さらには、先行研究においてIB認定一条校の図書館の研究蓄積が不十分ということもあり、結果、以下が問題の所在と考えられる

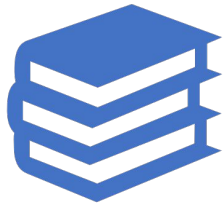
1. 一条校の学校図書館と司書において、IBの理念を反映させるためにどのようなアプローチを取りうるのか不明瞭である点
2. 学校司書の職務や役割について、日本の一条校とIBが期待することとの整合性についての検討が十分になされていない点
3. ①と②が検討されなければ、職務や役割が不明瞭となりIB教育の質保障も問題となる可能性があるという点

2) 研究課題



1. IB認定校及び一条校における学校司書の職務や役割を文献調査をもとに明らかにする。
2. 質問紙調査をとおして、IB認定一条校における学校司書のIBへの意識や役割、協働の実態を明らかにする。

3) 研究方法



文献研究

- IB図書館及び司書の文脈

IBO発刊文書

IBOウェブサイト

先行文献や書籍

質問紙調査

ディプロマプログラム(DP)認定一条校、全41校

35校が対象:28校29名から回答収集(回収率80%)

- 学校司書(専任・常駐)を置いていない
- 委託業者の管轄なので対応できない
- IBを終了予定

3) 研究方法: 研究対象選定の理由

DPに焦点を当てる理由

- 科目授業がより専門的になり、さらにはIBの集大成となるようなTOKやEEなどのコア科目が入り、図書館/司書なしでは成り立たない
- DP文書における学校図書館および司書について具体的な記載が多い
- IB独自の司書の役割が顕著に表れていること

したがって、コア科目であるTOKやEEが存在し、その実践的課題に取り組む方法を学ぶためには**図書館の仕掛けが必要だとされるプログラム**であるといところがDPに着目する理由である



4) 質問紙調査の分析 方法



- **集計**

- 単純集計

- Gound Total表

- ローデータ加工

- クロス集計

- **統計分析**

- 記述統計(中央値/平均値)

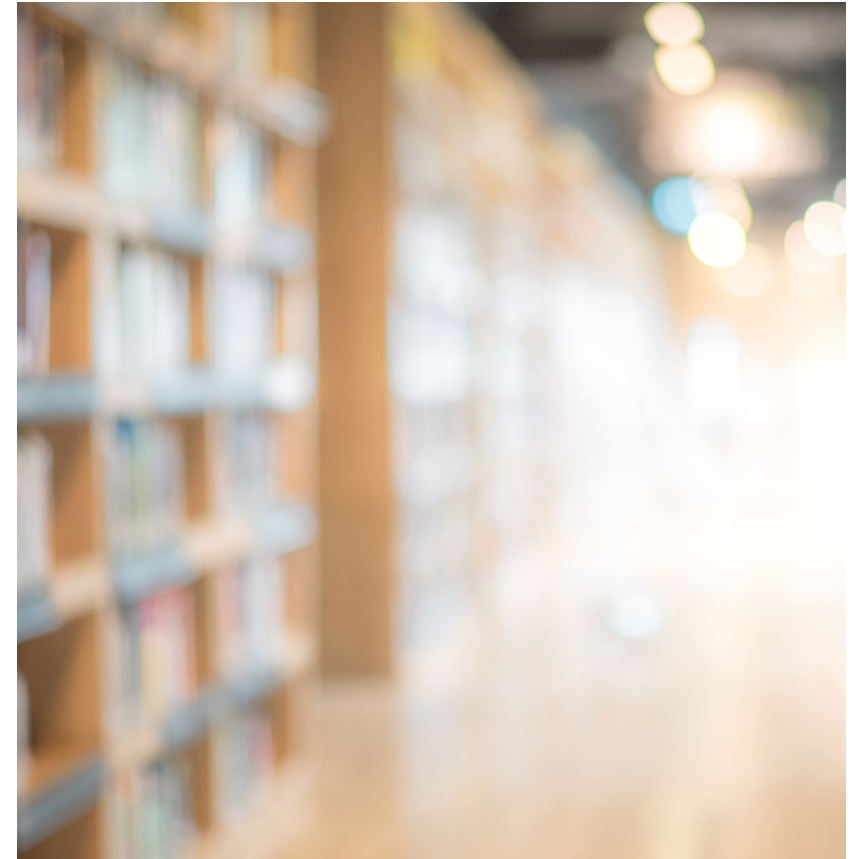
- 比率比較

5) 学校司書の職務や役割: **IB認定校**

- *The IB definition of a library : “Libraries” are combination of people, place, collection and services that aid and extend learning and teaching.*
- 「図書館」とは、学習指導のサポートと拡充に必要な人、場所、コレクション(蔵書やデジタル資料等を含めた利用可能な資料全体)、およびサービスが組み合わさったものである。」

IBO (2018=2022)

Library/ian = 図書館および司書





5) 学校司書の職務や役割: **IB認定校**

IB司書とは: 教えと学びの課程におけるファシリテーター

□ 図書館員は、情報収集・管理者、資料と利用者の管理者

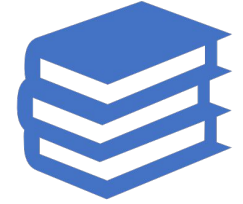
□ 利用者とサービスの仲介者

□ **情報源、マルチリテラシー、読者への橋渡し役**

- 図書館員の責務は、彼らが関わる教育環境に影響を受け、その能力において、学校やより幅広い地域社会との情報の協働創造者となる
- 司書は学習者に適切な情報を探し求めさせ、的確な調査や研究の方法を用いるよう促し、学習者が見つけたり利用したりする情報に疑問を持つよう指導する

IBO (2018)

5) 学校司書の職務や役割: 一条校



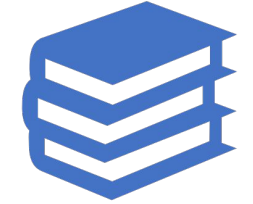
本研究では学校司書とは「**学校図書館専任司書**」を指す

理由

- IBでは司書は**専任・常駐**が基本。
- 役割において: 一条校の文脈における司書教諭より学校司書の方がIBDP司書と親和性があるから:**児童生徒の教育に関する知識技能に特化した役割が多い**
(『学校経営と学校図書館』(2019))
- 一条校の場合、司書教諭は充て職となるケースが大半となり、司書が全般を担っているケースが多いため*一条校の場合、司書教諭は「充て職」であり授業時間の軽減措置は約割に過ぎない。司書の雇用も微増していることがうかがえる

「学校内における学校図書館の役割」(日本教育心理学会第 63回総会発表論文集(2021))

5) 学校司書の職務や役割: IB認定校



IBO文書からみる職務の枠組み: Tilk (2021)p98-103より

- 図書館員が**DPを包括的に理解**することがきわめて重要であり、IBの基準やその学校における**DPの知識を熟知**すること
- 国際性と学問的誠実性に関することを図書館員が確実にすること
- **学問的誠実性と課題論文(EE)を支援**すること (個人指導や、アドバイス、足場かけの働きかけを行うことで生徒へのリサーチスキルとその他の情報リテラシーについて教え導く人でありロールモデルとなる)
- DPを支援するための十分な資料を図書館に備える
- DPに関わる教員の職能力開発にてついで資料を提供すること。また保護者のための資料、IBに関する資料や生徒に向けた資料の提供 (IBのポスター提示、IBの学習者像で図書館に関わる側面の記述を提示、IBの使命のコピーや提示)

5) 学校司書の職務や役割:IB認定校

IBO文書からみる職務の枠組み:Tilk (2021)より

✓ 職務:順守すること

- 『プログラムの基準と実践要綱』(2014) 学校が図書館のために何ができるかよりも、**図書館がカリキュラムのためには何ができるか、何をやっているのか、が書いてある**
- 『DP:原則から実践へ』(2015b)

✓ 役割:図書館および司書が関わる**専門的な仕事**

- 『理想の図書館:学校のための手引き』(2018)
- 『ディプロマプログラムにおける「指導」と「学習」』(2015a)



5) 学校司書の職務や役割: IB認定校

IBDPにおける具体的な司書の役割

□ 学校司書業務

(教師を支える司書/学校または学校区を支える司書/メディアスペシャリスト/デザイナー司書/児童生徒の生活を支える司書+スーパーライブラリアン)

- 学校図書館が学習者像をどのように支援拡張できるのか
- 図書館活動の具体的な年次報告の作成 (学びの平行性として、教育に対してどのような側面で支援可能かを明確にするため)

□ ATLスキルの育成支援

□ 学問的誠実性の推進

- オリエンテーションの企画や指導
- 例: 情報学について30分のプレゼンテーション
- 教科教員と協力してケーススタディーのための図書館の資料を更新

□ 課題論文(Extended Essay)に関する指導や支援

- EEコーディネーター / スーパーバイザー
- オリエンテーションの企画や指導
- 文献調査・探究支援
- EEのスーパーバイザー会議で生徒が研究プロセスからできる限り多くのことを促す方法について話す



6) 質問紙調査項目:

質問紙の構成

国際バカロレア (IB) 認定校における学校図書館および司書の役割に関する調査

1. 学校と学校の図書館担当職員
2. 学校の図書館
3. 学校図書館および司書
4. 学校司書とDP
5. 学校司書と司書教諭・教員との協働

5つのセクション/43項目/評定尺度表・複数選択法・自由回答法



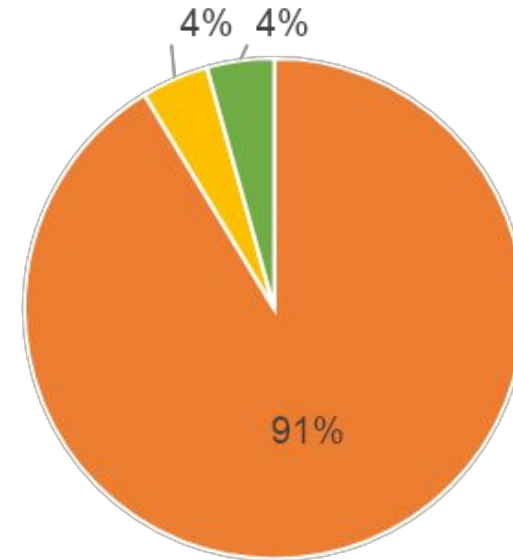
7) 分析結果: セクション①学校と学校の図書館担当職員

学校司書は図書館の専任ですか、兼任ですか

専任・常駐	21人	91%
専任(複数の図書館)	1人	4%
図書館以外の仕事との兼任	1人	4%

(n=23)

専任・常駐率



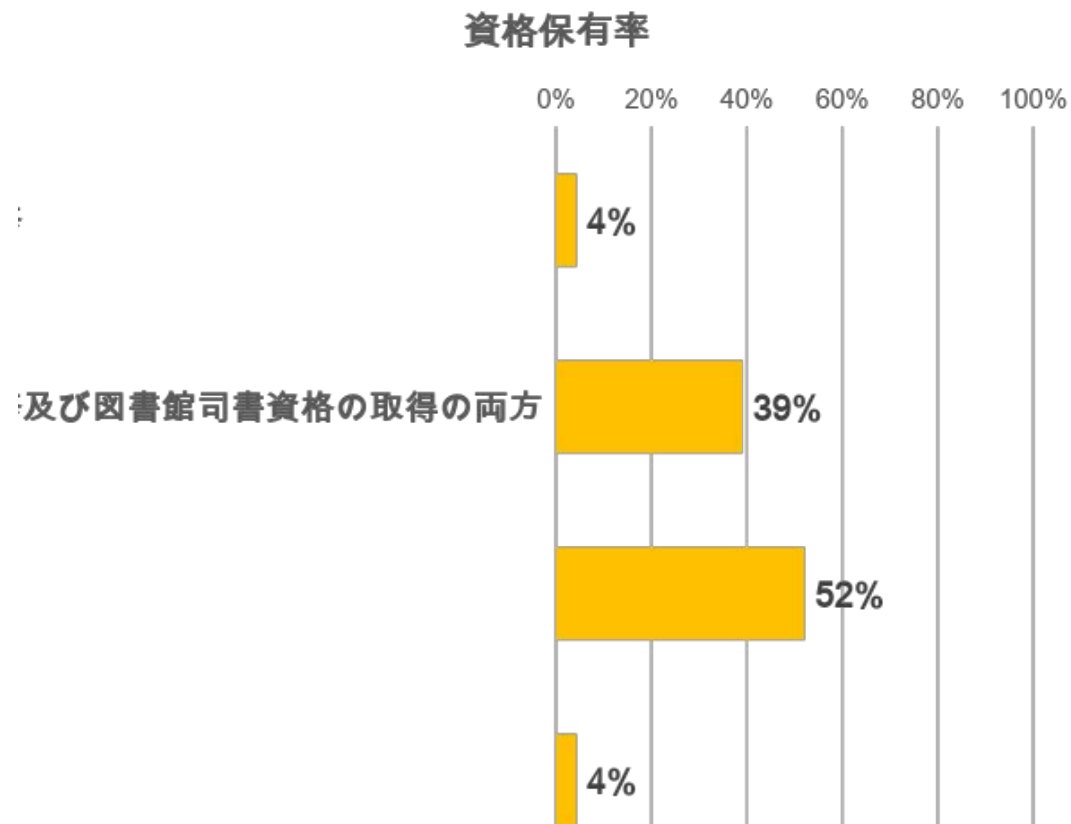
- 専任 (一つの図書館に勤務)
- 専任 (複数の図書館に勤務)
- 図書館以外の仕事との兼任

7) 分析結果: セクション①学校と学校の図書館担当職員

あなたは学校司書課程、もしくは図書館司書資格など、図書館に関する課程や資格を取りましたか

学校司書課程の履修	1人	4%
※学校司書課程の履修及び 図書館司書資格	9人	39%
図書館司書資格	12人	52%
無回答	1人	4%

(n=23)



※学会発表の際に「学校司書課程」という用語の不明確さについて指摘があった。本来は「司書教諭課程」とすべきだったが、調査時点で用いた用語のままにしている。

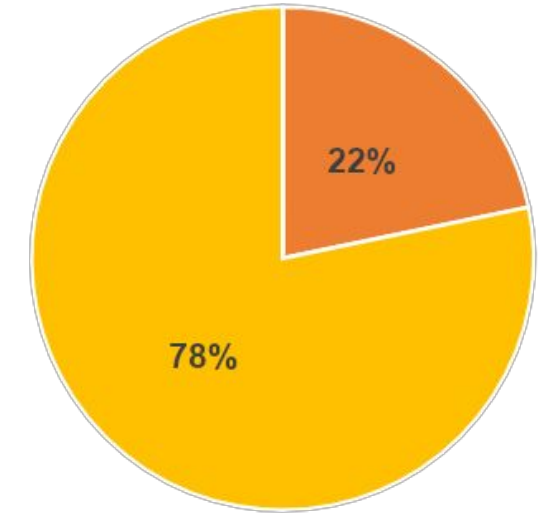
7) 分析結果: セクション①学校と学校の図書館担当職員

国際バカロレア機構が実施するIB図書館および司書のワークショップに参加したことはありますか

ワークショップ参加率

1回参加したことがある	5人	22%
参加したことはない	18人	78%
複数回参加したことがある	0	0

(n=23)



■ある ■ない ■複数回ある

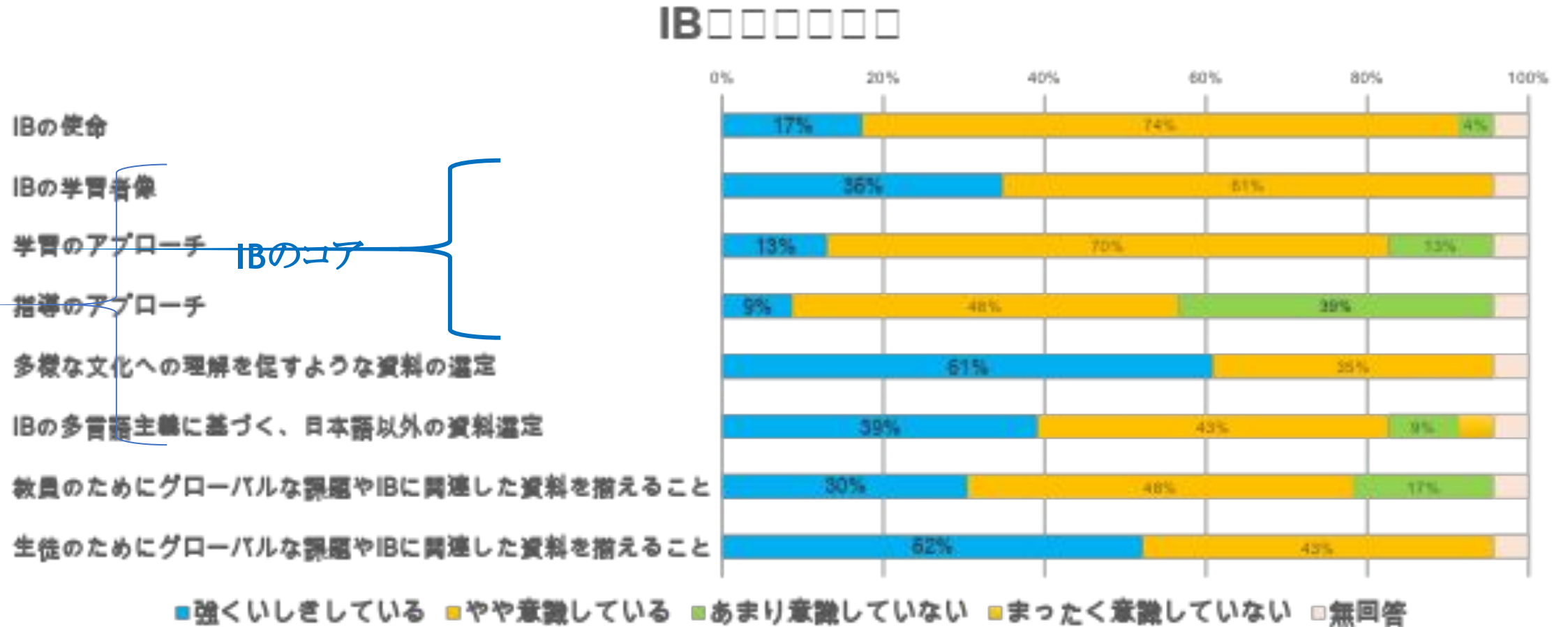
7) 分析結果

セクション①:まとめ

- 資格保持率からみる専門性の高さ
- ワークショップへの参加が2割程度に留まっている

7) 分析結果: セクション③国際バカロレアの学校図書館及び司書について

学校司書として生徒や教員を支援する際、以下の点についてどの程度意識していますか。
(IBの理念の理解) No.1



(n=23)

7) 分析結果: セクション③国際バカロレアの学校図書館及び司書について

学校司書として生徒や教員を支援する際、以下の点についてどの程度意識していますか。
(IBの理念の理解) No.3

IB理念: 強く/やや意識している
合計

IBの使命	21人	91%
IBの学習者像	22人	96%
学習のアプローチ: ATL	19人	83%
指導のアプローチ: ATT	13人	57%
多様な文化への資料選定	22人	96%
多言語資料選定	19人	82%
教員: グローバル/IB	18人	78%
生徒: グローバル/IB	22人	62%

IB理念理解の中央値

強く意識している	33%
やや意識している	48%
あまり意識していない	7%
まったく意識していない	4%

(n=23)

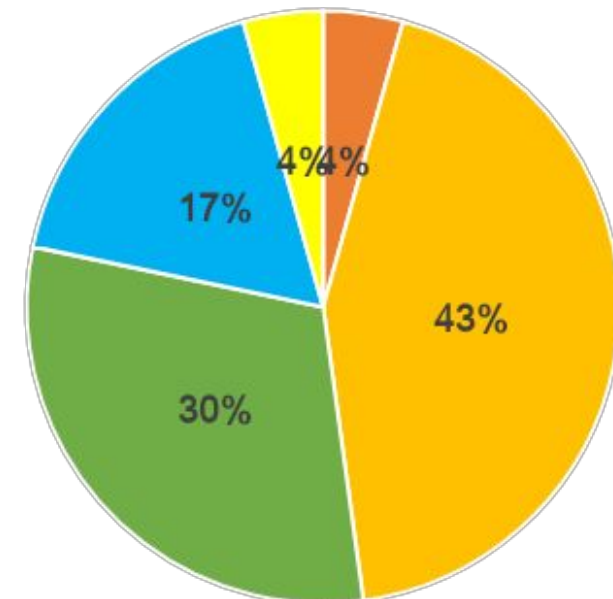
(n=23)

7) 分析結果: セクション③国際バカロレアの学校図書館及び司書について

IBの文書をどの程度参照していますか:『プログラムの基準と実践要綱』(2014)

よく参照している	1人	4%
たまに参照している	10人	43%
あまり参照していない	7人	30%
まったく参照していない	4人	17%
無回答	1人	4%

(n=23)



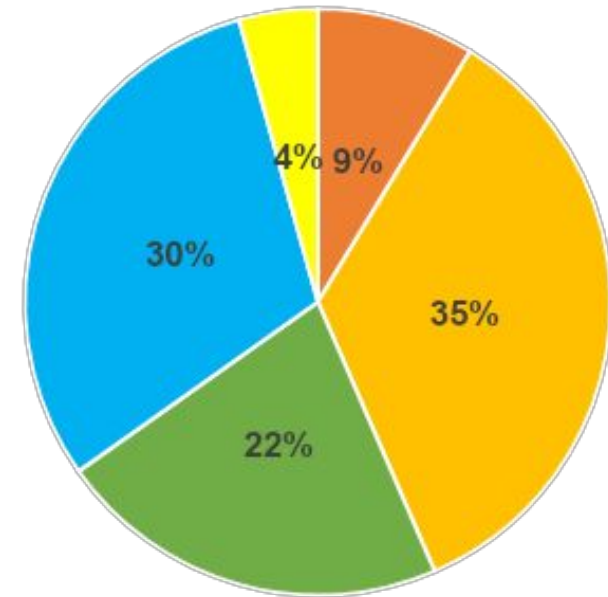
- よく参照している
- たまに参照している
- あまり参照していない
- まったく参照していない
- 無回答

7)分析結果:セクション③国際バカロレアの学校図書館及び司書について

IBの文書をどの程度参照していますか:『理想の図書館:学校の手引き』(2018)

よく参照している	2人	9%
たまに参照している	8人	35%
あまり参照していない	5人	22%
まったく参照していない	7人	30%
無回答	1人	4%

(n=23)



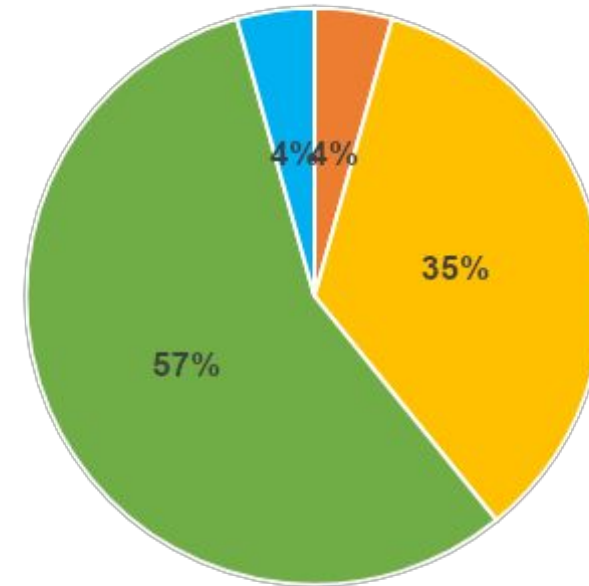
- よく参照している
- たまに参照している
- あまり参照していない
- まったく参照していない
- 無回答

7) 分析結果: セクション③国際バカロレアの学校図書館及び司書について

あなたの学校の図書館はディプロマプログラムを支援するのに量と質の面において必要な資料を揃えていると思いますか

強くそう思う	1人	4%
ややそう思う	8人	35%
あまりそう思わない	13人	57%
まったくそう思わない	1人	4%

(n=23)



- 強くそう思う
- ややそう思う
- あまりそう思わない
- まったくそう思わない

7) 分析結果

セクション③:まとめ

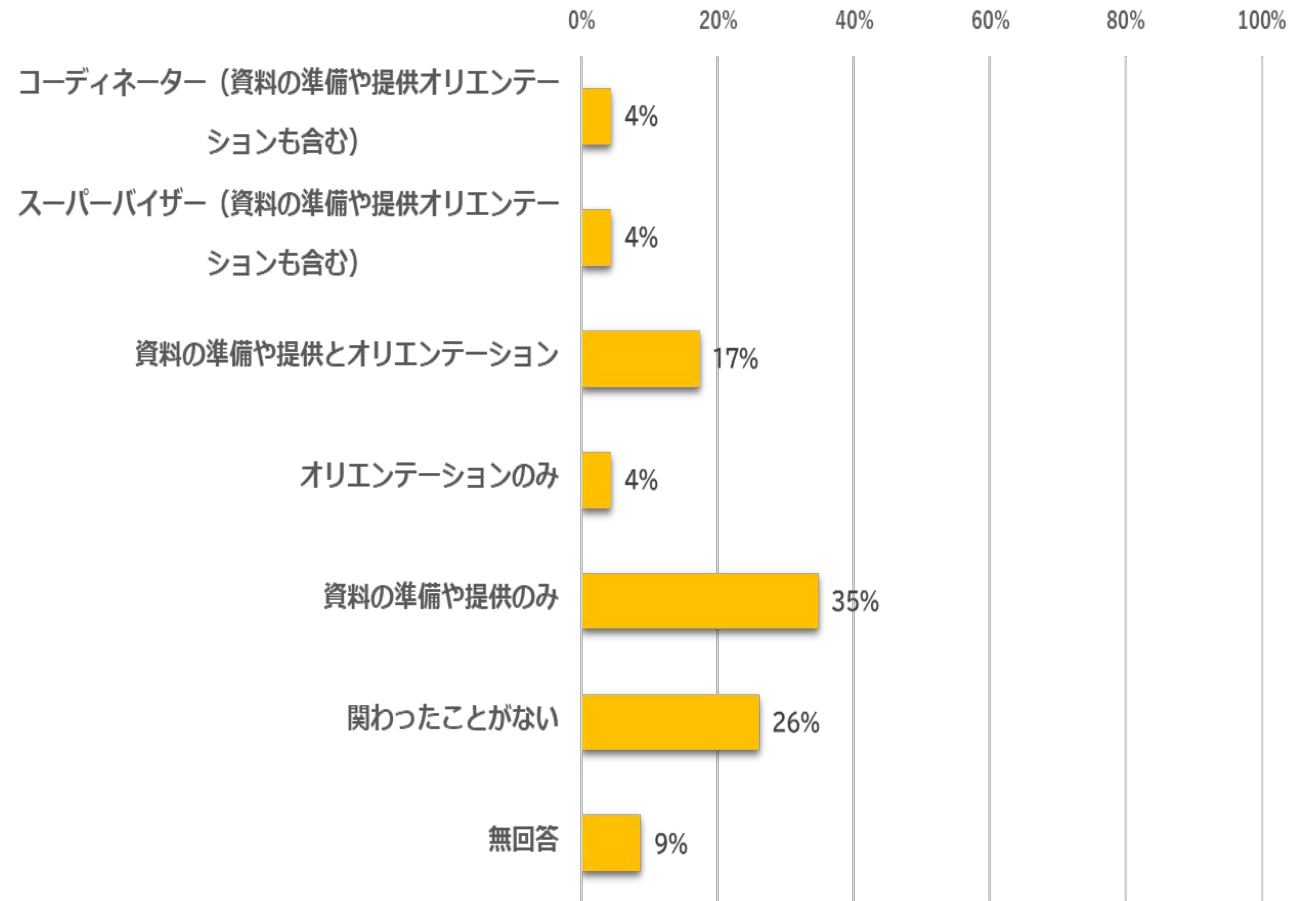
- IBの理念を意識していることが伺えるが、ATLやATTについてはあまり意識されていないようである
- IBO文書が読まれていないため、職務や役割の認識不足が見られた
- DP支援のための資料の質と量に関して十分にそろえているとは思えないという回答が半数以上を占めている

7) 分析結果: セクション④学校司書とディプロマプログラムについて

課題論文(Extended Essay)に関わったことはありますか

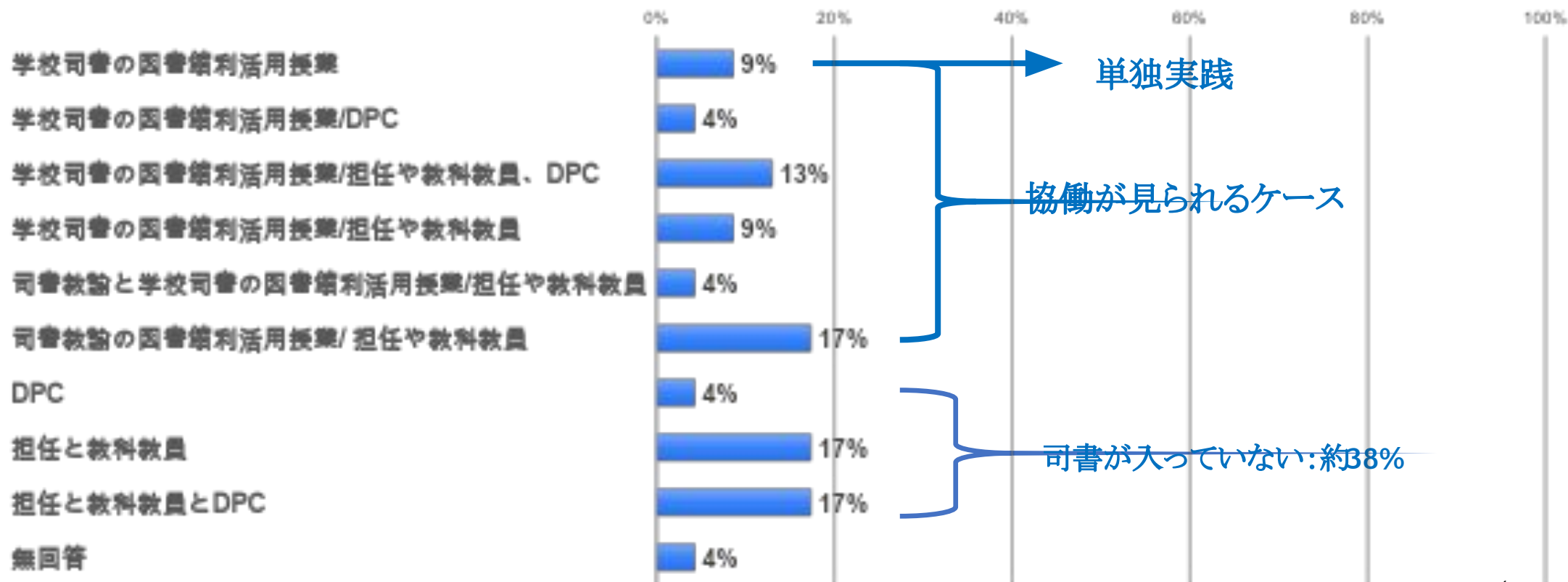
協働

コーディネーター	1人	4%
スーパーバイザー	1人	4%
資料準備や提供とオリエンテーション	4人	17%
オリエンテーションのみ	1人	4%
資料準備や提供のみ	8人	35%
関わったことがない	6人	26%
無回答	2人	9%



(n=23)
協働が見られる割合: 約64%

7) 分析結果: セクション④学校司書とディプロマプログラムについて 生徒への「学問的誠実性」(剽窃、引用・参照、著作権など)に関する指導はどのように実施していますか No.1



(n=23)

7) 分析結果: セクション④学校司書とディプロマプログラムについて

生徒への「学問的誠実性」(剽窃、引用・参照、著作権など)に関する指導はどのように実施していますか No.2

学校司書の図書館利活用授業	2人	9%
学校司書の図書館利活用授業/DPC	1人	4%
学校司書の図書館利活用授業/担任や教科教員、DPC	3人	13%
学校司書の図書館利活用授業/担任や教科教員	2人	9%
司書教諭と学校司書の図書館利活用授業/担任や教科教員	1人	4%
司書教諭の図書館利活用授業/担任や教科教員	4人	17%
DPC	1人	4%
担任と教科教員	4人	17%
担任と教科教員とDPC	4人	17%
無回答	1人	4%

協働が見られる
割合: 約56%

教員のみの実践
司書が入っていない:
約38%

7) 分析結果

セクション④:まとめ

□ 課題論文(Extended Essay)

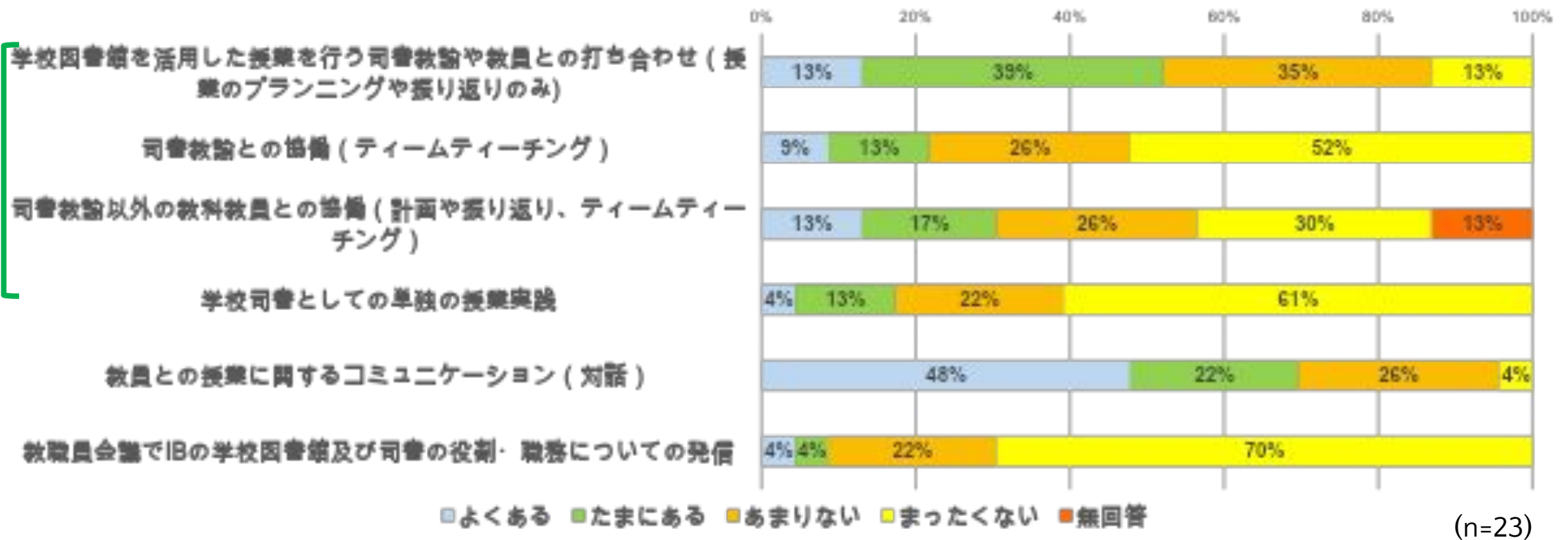
- 役割の理解と協働が見られるケースが半分以上はあるが関わっていないケースが約3割ある
- 資料準備や提供が一般的であり、それ以上の関与があまりみられない
- 関りの度合いに差がみられる(整合性確認の必要性)

□ 学問的誠実性の促進

- 役割の理解と協働が見られるケースは半分以上あるが、司書が関わっていないケースも約4割ある

7) 分析結果: セクション⑤ 学校司書と司書教諭・教員との協働について

以下のような協働はどの程度の頻度でありますか。No.1



7) 分析結果: セクション⑤ 学校司書と司書教諭・教員との協働について

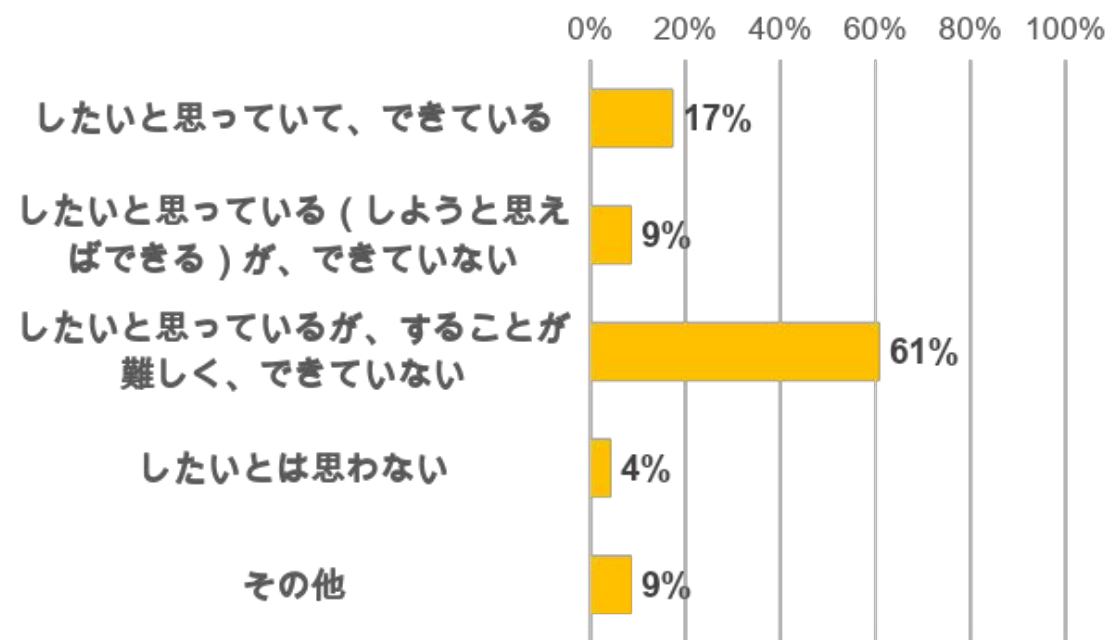
司書として教科指導において協働したいと思いますか。

したいと思っていて、できている	4人	17%
したいと思っている(しようと思えばできる)ができていない	2人	9%
したいと思っているが、することが難しく、できていない	14人	61%
したいとは思わない	1人	4%
その他	2人	9%

(n=23)

協働をしたい: 87%

できていない(できない): 70%



その他:

資料提供という点では協働したいが、教科の指導は立場上できない
司書の役割や職務ではない(管理職回答ケース)

7) 分析結果

セクション⑤:まとめ

- 協働は見られるが、数値からみると「図書館が中心的な役割を果たしている」、「機能的かつ活動的な図書館を維持している」とは言い難い
- 協働には「できる、できない」場合がある

8) 結論: 研究課題①で明らかになったこと

IB認定校及び一条校における学校司書の職務や役割を文献調査をもとに明らかにする

- 一条校としての学校司書業務
- ATLスキルの育成支援
- 学問的誠実性の推進
- EEに関する指導や支援

8) 結論(考察含む): 研究課題②で明らかになったこと

質問紙調査をとおして、IB認定一条校における学校司書のIBへの意識や役割、協働の実態を明らかにする

□ IBO文書の熟知、特にDP校ではDPへの熟知が喫緊の課題

- 司書の役割は**一条校とは違う特色がある**ということを知ること
 - IBではIBの使命を掲げながら10の学習者像を目指すことが目標となるため、まずはその部分を十分に理解することが必須であり、**そのアプローチとしてATLやATTがある**ということ

□ 一条校とIBの図書館/司書の役割の文脈の整合性を検討、明文化し、IBO文書の職務や役割を確認するためにもワークショップへの参加が必要

- EEと学問的誠実性の促進に関して、**関わっていないケースがある**ことについて学校全体で改善していくことが必要(専門資格をほぼ全員が保有しているので、**専門職**として関わる必要がある)
- EEや学問的誠実性などの役割の協働に関して、できている、できていない、できないという差異を探るために、**何が、どのように、どの程度行われているのか**ということを検討すること

引用・参照文献

- International Baccalaureate Organization (IBO), (2015). *Diploma Programme : From principles into practice*, IBO. (= (2020)『DP:原則から実践へ』国際バカロレア機構)
- International Baccalaureate Organization (IBO), (2018). *Ideal libraries : A guide for schools*, IBO. (= (2022)『理想の図書館:学校のための手引き』国際バカロレア機構)
- International Baccalaureate Organization (IBO), (2019). *Diploma Programme : Academic integrity policy*, IBO. (= (2021)『学問的誠実性』国際バカロレア機構)
- International Baccalaureate Organization (IBO), (xxxx). *Approaches to teaching and learning in the Diploma programme*, IBO. (= (2014)『ディプロマプログラムにおける「指導」と「学習」』国際バカロレア機構)
- International Baccalaureate Organization (IBO), (2014)&(2018). *Programme standards and practices*, IBO. (= (2014), (2018)『プログラムの基準と実践要綱』国際バカロレア機構)
- [Libraries in the 21st century: the struggle between perception and reality | IB Community Blog \(ibo.org\)](#)
[最終閲覧日2023/8/27](#)

引用・参照文献

- アンソニー・ティルク『国際バカロレア教育と学校図書館』学文社(2021)
- カレントアウェアネスNo.332(2017)「学校図書館専門職関連施策の動向と課題」高松美紀
- カレントアウェアネスNo.345(2020)「グローバル時代の学校図書館—国際バカロレアからの示唆」高松美紀
- 『学校経営と学校図書館』「探究 学校図書館学」編集委員会・編著、全国学校学校図書館協議会(2019)
- 国際バカロレア機構(2016)『課題論文:手引き』
- 高松美紀(2021)「日本における国際バカロレア認定校の図書館の実態」
- 日本教育学心理学会(2021)「学校内における学校図書館の役割」第63回総会発表文集 p110
- 根本彰『教育改革のための学校図書館』東京大学出版会(2019)
- 脇田萌佳(2017)「国際バカロレアDP認定校の学校図書館に求められる機能」